

千葉県理学療法士(協)会 代議員立候補者

定 数 : 15 名

立候補者数 : 13 名



氏名 林 祐介

都道府県士会 千葉県

年齢 30

勤務先名称 西千葉整形外科

協会・士会役員歴

千葉県理学療法士会 ニュース編集部 部員

立候補の趣旨

このたび代議員として立候補させていただきます林 祐介でございます。
普段は、整形外科にて外来業務や管理業務などに携わっております。
この度、我々世代の声を届けるために立候補いたしました。
代議員に立候補するにあたり、リハビリテーションの普及および啓蒙に努力すること。
さらには協会のさらなる発展に寄与したいと考えております。
微力ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。



氏名 田中 康之

都道府県士会 千葉県

年齢 53

勤務先名称 千葉県千葉リハビリテーションセンター

協会・士会役員歴

- （一般）千葉県理学療法士会 会長（平成25年～現在）、職能局理事（平成23年～平成25年）、第20回千葉県理学療法士学会会長
- （公社）日本理学療法士協会 代議員（平成26年～）、災害時支援システム検討委員会（平成29年～）、オリ・パラ対策本部委員（平成27年～29年）、予防理学療法検討特別委員（平成25年～平成26年）、職能業務執行理事委員（平成26年～平成27年）
- 日本理学療法士学会 日本地域理学療法学会運営幹事、第2回・第4回日本地域理学療法学会会長、第52回日本理学療法学会学術大会 相談役

立候補の趣旨

私は千葉県理学療法士会会長として、現在3期目を務めさせていただいています。この間、県内では県市町村や医師・歯科医師・看護師・薬剤師等の職能団体から、理学療法士及び千葉県士会への期待そして協働要請が確実に増えています。そして、介護予防や健康増進等の活動を通し、県民の方々と実際の生活の中で理学療法士が関わることが増えています。また、県保健医療計画における議論では、医療的ケアが必要な障害児・者の増加による理学療法士の必要性の声を頂いています。
このような期待や今後の可能性が広がっている一方で、人口減少時代を迎え社会保障政策の見直しが進む中、理学療法士の将来がどうなるのか、これは急増する若い世代の理学療法士にとっては大きな問題です。
県士会の取り組みだけでは、存在価値の高まり、一時的な雇用や補助金等の獲得にはつながりませんが、社会保障制度に直接働きかけるには至りません。この不安を払拭するためにはやはり協会の力が必要なのです。
そこで県士会の代表の一人として、協会の流れを把握し、県士会員にとってより有用な県士会施策の展開をするために、そして県士会の声を協会に伝えるために、改めて代議員選に立候補させていただきます。よろしくお願い致します。



氏名 松井 貴司
都道府県士会 千葉県
年齢 34
勤務先名称 松戸リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

なし

立候補の趣旨

最近、協会の制度が多々変化していく中、現状にあまりついて行っていない私自身がいました。しかし、この現状は私だけではないのではないかと考えています。この協会運営側と私たちとの温度差を伝えたい。その想いで立候補しました。この温度差は、臨床においても言えることだと感じています。協会のコメントなどにも納得はするものの、臨床現場では、その言葉が反響していない現状もあると思います。現在の臨床とこれからの協会の変化のパイプになりたくて、今回、まずは自分が動いてみようと思いました。協会員の平均年齢に近い私が、みなさんの声を協会の今後に反映させてみたいです。



氏名 三和 真人
都道府県士会 千葉県
年齢 60
勤務先名称 千葉県立保健医療大学健康科学部

協会・士会役員歴

「理学療法学」編集委員（2011～2016年）
日本理学療法学会大会査読委員（現在に至る）
第49回関東甲信越ブロック理学療法士学会大会長（2014年）
第52回日本理学療法学会大会副大会長（2017年）
千葉県理学療法士会理事（現在に至る）
千葉県理学療法士学会査読委員（現在に至る）

立候補の趣旨

公益法人「日本理学療法士協会」の活動に参加し、理学療法士の質と地位を高めたい。学術を中心に理学療法学が科学であることを研究を通して構築することが責務である。



氏名 竹内 弥彦

都道府県士会 千葉県

年齢 46

勤務先名称 千葉県立保健医療大学健康科学部



氏名 藤井 顕

都道府県士会 千葉県

年齢 54

勤務先名称 藤リハビリテーション学院

協会・士会役員歴

平成16年～21年 千葉県理学療法士会 社会局 広報部 部長
 平成21年～23年 (社)千葉県理学療法士会 公益事業局PT週間推進部 部長
 平成23年～現在 (社)千葉県理学療法士会 理事
 平成25年～29年 (社)千葉県理学療法士会 公益事業局長
 平成25年～現在 (社)千葉県理学療法士会 副会長
 平成25年～現在 (公社)日本理学療法士協会 代議員
 平成26年度 第33回関東甲信越ブロック理学療法士学会 準備委員長

立候補の趣旨

このたび、千葉県理学療法士会から日本理学療法士協会代議員に立候補しました竹内弥彦と申します。

私はこれまで、千葉県理学療法士会の役員として14年間、おもに職能団体としての公益事業活動を推進して参りました。またこの4年間は、県士会員の代表の一人として、協会の代議員を務めて参りました。理学療法士を取り巻く社会情勢が大きく変化している現在、地域包括ケアシステム等の推進に積極的に関わり結果をだせる組織づくりや人材の育成システムを構築し、理学療法士の職域拡大につながるよう尽力していく所存です。

今後も県士会員の皆様のご意見を広くお聞きしながら、協会と県士会との橋渡し役として、代議員の責務を果たして参りたいと考えております。

協会・士会役員歴

平成12年度～平成29年度現在 千葉県理学療法士会理事
 平成25年度～平成29年度現在 千葉県理学療法士会表彰委員会委員長
 平成26年度 第33回関東甲信越ブロック学会学術局長
 平成27年度～平成29年度現在 千葉県理学療法士会理学療法講習会委員会委員長
 平成29年度～ 千葉県理学療法士会学術局長
 平成22年度から平成29年度現在 日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

理学療法士養成におけるカリキュラムは大きく変更が検討され、生涯学習制度は見直しが見込まれ、高齢化社会によるリハビリテーション医療への期待と地域包括ケアシステムの構築が求められるなど、理学療法を取り巻く環境が変化中、これからの理学療法士として活躍される会員のためにも、代議員の1人として出来ることを目指し、努めてまいりたいと考えております。



氏名 薄 直宏

都道府県士会 千葉県

年齢 45

勤務先名称 東京女子医科大学八千代医療センター

協会・士会役員歴

平成23年6月～現在 (一社) 千葉県理学療法士会理事
 平成25年2月 (一社) 千葉県理学療法士会県士会学会会長
 平成25年6月～現在 (一社) 千葉県理学療法士会副会長・事務局長
 平成25年12月～現在 日本理学療法教育学会運営幹事
 平成26年度～現在 (公社) 日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

今回、代議員に立候補した薄(うすき)直宏と申します。
 私は、現在千葉県理学療法士会の副会長・事務局長として分かりやすい士会活動を会員へ周知すべく活動しております。
 また、日本理学療法教育学会の運営幹事として臨床と教育現場の架け橋となるべく学術集会での講演企画や運営会議での提言などを行っております。
 現在協会では、生涯学習を柱とした卒前・卒後の教育体制の確立、地域包括ケアの推進など理学療法士の質の向上を主要な課題として位置づけております。
 新卒理学療法士が年間1万人となり量的な拡大に対し質を如何に担保するのか、経験の浅い理学療法士をどのように育てていくのか、大きな岐路に立っています。
 地域包括ケアでは、会員の質の向上と地域の結びつきを推進する必要があります。
 また学会はそれぞれの専門性を高める仕組みを担っていく必要があります。
 このような変革の時に私は代議員として、第1に会員へ対し協会に所属しているメリットを分かりやすく情報提供していきたいと考えております。
 まだまだ若輩者ですが私の強みである行動力で会員満足度を向上できるように頑張っていく所存で御座います。宜しくお願いいたします。



氏名 名取 千明

都道府県士会 千葉県

年齢 25

勤務先名称 北総白井病院

協会・士会役員歴

立候補の趣旨

日本の現在の状況として毎年医療費が増大している。このまま医療費が増大することにより日本の将来はどうなってしまうのであろうか？税金の引き上げなどの策により何とか均衡を保っていくのか。このような不安がある中で我々理学療法士が行えることはあるのではないだろうか？私を含め20代の理学療法士はどの年齢層よりも多く、理学療法士の平均年齢は30代前半といった点からもっと若い世代の理学療法士が医療費の増加という問題や理学療法士の将来などについて考え直さなければならないのではないかと感じている。そのためもっと若い世代で意見を闘わせて将来を共に想像していきたいと思っている。そして何より私が当選しなくとも皆様が将来的に立候補するためのきっかけや理学療法士協会に対する疑問や医療による社会問題に今一度目を向け考え直し、それぞれの意見を持ち将来を想像し対話をしたい、そのようきっかけになりたい、そう考え立候補するに至った。
 また当選させて頂くことにより理学療法士としてや社会人として更に人として私に成長するチャンスを頂けるのであれば、皆様の疑問や考えていることを総会で伝え、総会では今どのような状況なのかどのようなことが話し合われているのか皆様に分かりやすくお伝えしていきたいと考えている。そうすることで当選したのみの方の意見だけではなく、皆様の思いも意見に反映してより良い未来を築いていきたいと考えている。
 目の前の患者様を幸せにし、医療費削減することにより日本に貢献することができ、日本は世界稀に見ぬ超高齢化社会であるため対策をしていくことで世界のためになると考えている。理学療法士はそのような点で無限の可能性を秘めているのではないだろうか。そのような理学療法士という集団が今一度団結し、私達は医療・介護という側面から日本に貢献できるため、より良い未来を目指し共に想像し行動していきたいと考えている。全ては理学療法士の未来、日本の将来、そして目の前の患者様のために。



氏名 上田 知成

都道府県士会 千葉県

年齢 49

勤務先名称 介護老人保健施設のみ



氏名 高橋 聡

都道府県士会 千葉県

年齢 43

勤務先名称 藤リハビリテーション学院

協会・士会役員歴

千葉県理学療法士会役員歴
 平成18年～19年度 渉外部員
 平成20年～23年度 渉外副部長
 平成24年～26年度 渉外部長
 平成27年～28年度 理事・災害対策委員会委員長
 平成29年度 副会長

協会・士会役員歴

平成20年～平成26年 千葉県理学療法士会 理学療法週間部 部長
 平成27年～平成29年 千葉県理学療法士会 理事（事務局担当）
 平成27年～ 日本理学療法士協会 代議員
 平成29年～ 千葉県理学療法士会 副会長（公益事業局担当）

立候補の趣旨

私は千葉県理学療法士会役員を平成18年度から継続して務め、今年度から副会長を拝命されました。現在、地域包括ケアシステムの中で理学療法士への期待や、日本理学療法士協会（以下、協会）の生涯学習システムの変更など、私を含め会員の方々にとって大きな変革の時だと思えます。しかし地域の中で理学療法士の認知度は決して高いとは言えない状態だと思えます。その状況で変革しても私たちが携わる人々や私たち自身の福音となるでしょうか。千葉県の現状を見据え、その変革が市民や会員のメリットとなるように、協会の活動を注視し意見を発していきたいと思い代議員へ立候補いたしました。

立候補の趣旨

私は平成20年度より公益事業局にて理学療法（士）の啓発活動に従事してまいりました。また、平成27年度からは千葉県士会では事務局担当理事としてブロック制および代議員制の導入に向け定款改定に従事し、日本理学療法士協会では代議員として協会運営に携わっております。平成29年からは千葉県士会副会長として公益事業を中心に従事してまいりました。超高齢社会の昨今、リハビリテーション専門職が注目されております。しかし、リハビリテーション専門職とは理学療法士以外の職種も含まれます。また、若い会員が急増しており、今後の理学療法士の職域確保が必須課題と考えます。理学療法士の未来の為に、職能団体、学術団体としての機能を充実させ、会員一人ひとりの職域確保の為に協会づくりに尽力致します。



氏名 小川 明宏

都道府県士会 千葉県

年齢 39

勤務先名称 東邦大学医療センター佐倉病院



氏名 松川 基宏

都道府県士会 千葉県

年齢 52

勤務先名称 船橋市役所

協会・士会役員歴

平成16年7月～平成18年3月 日本理学療法士協会 広報部部員
 平成25年6月～平成29年6月 千葉県理学療法士会 職能局医療保険部部長
 平成29年6月～ 千葉県理学療法士会 理事(事務局)

協会・士会役員歴

現、日本理学療法士協会代議員
 千葉県理学療法士会理事(3期目)

立候補の趣旨

私は今年度より千葉県理学療法士会の理事を仰せつかり、県士会活動に従事しております。その活動の中で私たち理学療法士を取り巻く環境は大きく変化しており、今後もさらに変化していくと感じております。その中で理学療法士が将来も更に活躍の場を拡げ、専門職として生き残っていくには、私たち中堅世代の理学療法士が専門職として研鑽しながら、積極的に協会活動に参画していく必要があると考えます。そのため、未熟ではございますが代議員に立候補いたします。

立候補の趣旨

市役所に勤める理学療法士として、行政の視点から地域包括ケアシステムの構築のみならず、小児から高齢者、障がいを持つ人から健康な人まで、医療、保健、福祉、そして、まちづくり等生活、地域全般における理学療法士の役割をこれからも発信していきたいと思っております。そして、協会と県士会がそれぞれの分野や階層について、また、地域課題について情報共有して課題解決に繋げる一助になるべく立候補させて頂きました。



氏名 藤川 孝彦

都道府県士会 千葉県

年齢 50

勤務先名称 国際医療福祉専門学校

協会・士会役員歴

2012	～	2013	千葉県理学療法士会	事務局総務部部长
2013	～		千葉県理学療法士会	理事(職能局)
2016	～		日本理学療法士協会	代議員

立候補の趣旨

理学療法士の可能性の認知度向上を図りたい。
著しい理学療法士数の増加の一方で、未だ、理学療法士の職業理解は不十分と言わざるを得ないことを経験しました。
現在は養成校の教員として後進の教育に従事していますが、これまで以上に、地域住民のニーズに応えられ、支持が得られるように活動したいと考えています。
理学療法士が関わったことで、「将来が楽しみですね」とより多くの国民の方から言われるように職能団体の活動の一助になればと考え立候補しました。